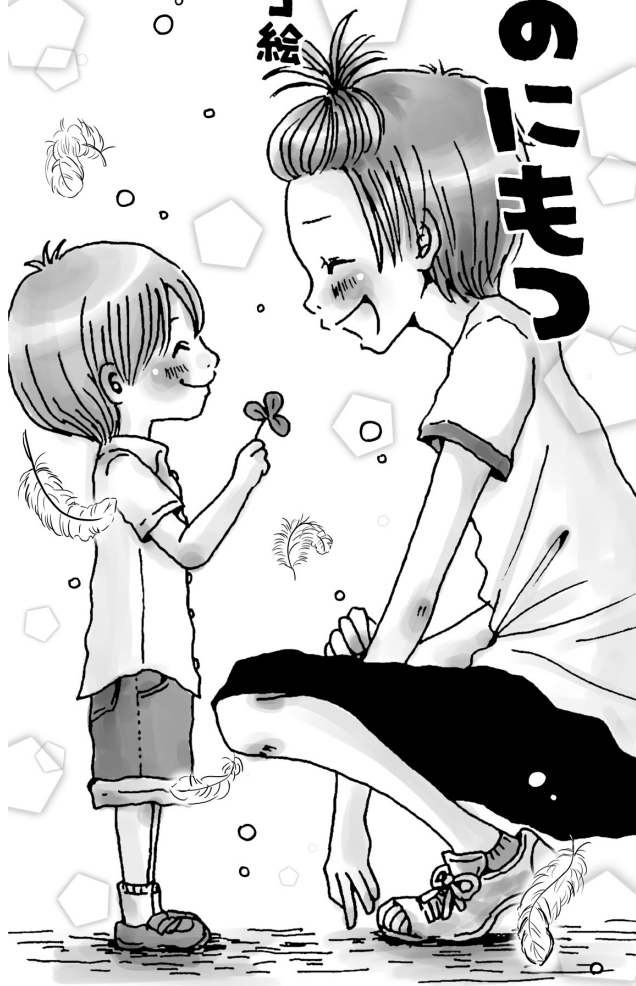


# 天使のにもつ

(最終回)

いとろやく  
カタトモ絵



〈前号のあらすじ〉

風汰は保育園での職場体験でしおん君が気になっている。親たちのお迎え時間にも疑問を持ち始めた。しおん君の担任は、保育園は子どもたちを第一に考えているという。絵本の修理をしていた風汰の横に来て、「ふうたくんすき」といっていたしおん君。だが、その夜、認知症見守り隊のまーくん先輩と行った先で、一人で遊んでいたしおん君に会うが、風汰を睨んで逃げ去って行った。

〈7〉

翌朝、玄関の閉まる音で風汰は目が覚めた。時計に目をやると、九時をまわったところだ。九時は休みの日に起きる時間じゃない。もう一度目をつぶってはみたけれど、一分も経たないうちに「あっちー」と、起き上がった。蒸すような暑さのせいかな、昨日なかなか寝付けなかった